

中国の柑橘類事情(マンダリン/タンジェリン)

米国農務省GAINレポート2023年12月27日

これは米国農務省海外農業局の広州農業貿易事務所(中国)が作成した「柑橘類年次報告書」の一部を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要旨

経済の減速に関連する諸課題にもかかわらず、2023/24年販売年度(以下「年度」)の中国の柑橘類生産は他の種類の果実を上回る勢いで引き続き成長するものと予想される。天候に恵まれ、また近年のカンキツグリーンング病の発生で改植された果樹の収量の増加が見込まれることから、柑橘類のすべての品目で生産量の増加が見込まれる。中国の消費者は毎日のビタミンCの摂取量を増やそうとしているため、柑橘類に対する消費者の需要は引き続き高いと予想される。柑橘類の貿易量は生産量に比べて小さいが、生産量が消費量を上回れば、輸出の顕著な増加が見られる可能性がある。

概要

この数年一貫して増加している中国の柑橘類生産量は、2023/24年度も引き続き増加し、他の果実(リンゴ等)を上回り、引き続き最大の果実品目であると予想される。好天に恵まれ、また以前のカンキツグリーンング病からの栽培面積の回復により、オレンジ、タンジェリン、マンダリン、グレープフルーツ、ザボンなど、すべての柑橘類の収量が多いと予想される。消費者の価格意識は高まっているが、需要は引き続き堅調に推移すると予想される。中国が引き続き地域の貿易を推進するにつれて、貿易の流れが次第に変化するものと予想される。

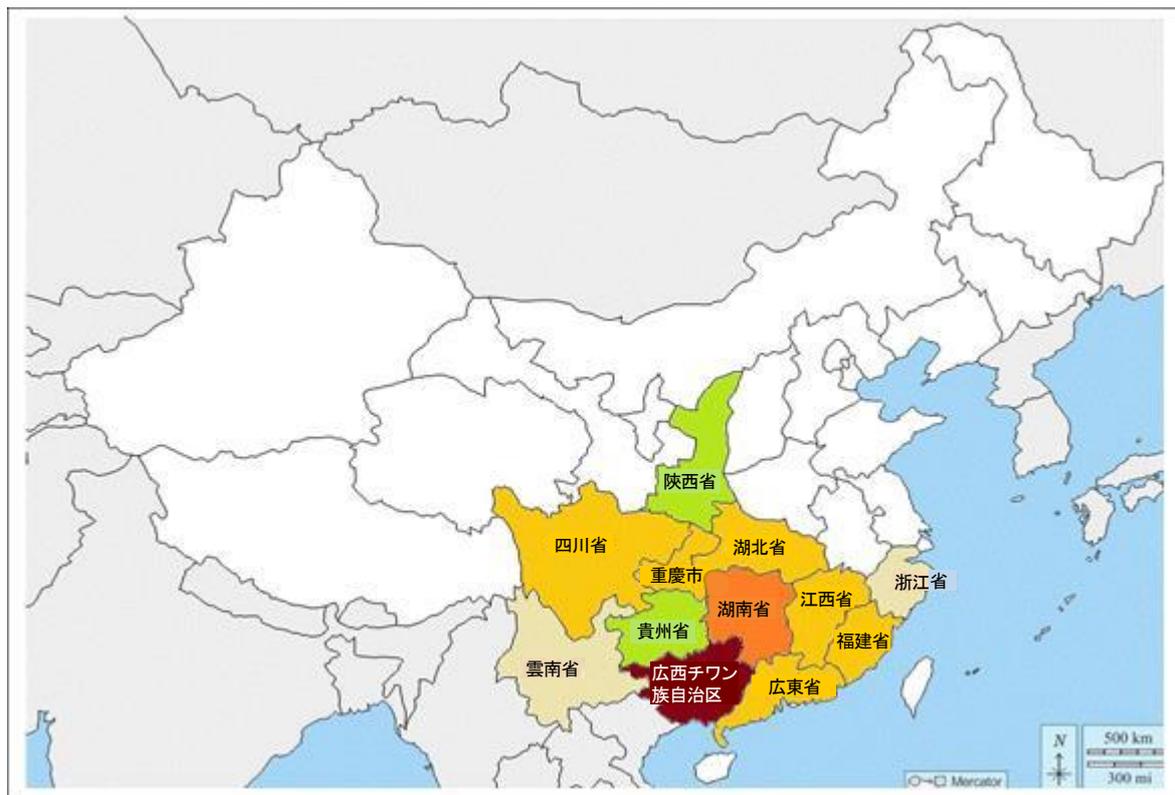
図1 中国の柑橘類生産量



(出典: 中国統計年鑑 2023 年、図は当事務所作成)

広西チワン族自治区は中国の現在の柑橘類生産量の約30%を占めている。湖南省と湖北省は合わせて20%を占めている。江西省は依然として最大のネーブルオレンジ産地である。福建省、広東省、広西チワン族自治区及び江西省で生産されるザボンは、全国で高い評価を得ている。四川省と重慶市(省と同格の直轄市)では、オレンジとタンジェリンの晩生の品種が生産されている。雲南省は複数の柑橘類の生産に適した有望な省であるが、一部の関係者は雲南省の生産量の公式データは過小評価されている可能性が高いと報告している。陝西省、貴州省など、新たな産地が作られたが、この2つの省は現在のところ中国の生産量のほんの一部を占めるに過ぎない。

図2 中国の柑橘類産地



(出典: 中国統計年鑑 2022、地図は当事務所作成)

凡例(中国の総生産量に占める各省の生産量の割合)

	えんじ色 = 30%(広西チワン族自治区)		オレンジ = 10~20%(湖南省)	
	金色 = 5~10%(湖北省、広東省、四川省、福建省、江西省、重慶市)			黄緑色 = 1%~2% (貴州省、陝西省)

<マンダリン及びタンジェリン>

生産

2023/24年度の中国のマンダリン/タンジェリンの生産量は、湖南省、湖北省、広西チワン族自治区及び江西省で好天に恵まれ増収が見込まれることから、前年比40万トン増の2,690万トンと予測される。貿易関係者らは、広西チワン族自治区のマンダリンとタンジェリンの生産量は今シーズン増加すると考えている。生産者が以前のカンキツグリーンング病の発生から回復するために園地を拡大したため、2023/24年度の栽培面積はわずかに増加した。四川省と重慶市の晩生品種の生産量は横ばいと見られる。

現在、広西チワン族自治区は中国最大の柑橘類産地であり、中国の総収穫量の3分の1を占めている。広西チワン族自治区では、柑橘類の半分以上がマンダリンとタンジェリンである。「砂糖桔」(シュガーオレンジ)と「沃柑」(オラオレンジ)は、同自治区で生産される2つの主要品種であり、主に武民県(南寧市近傍)と桂林地区で栽培されている。「ゴールデン砂糖桔」は人気の品種となった。広西チワン族自治区に加えて、江西省(撫州市南豊県)では「南豊桔」マンダリンを生産している。また、「愛媛28号」と「愛媛38号」は、四川省、湖北省、重慶市及び四川省で栽培されている有望な新品種である。

価格

業界関係者らによると、2023/24年度のタンジェリンとマンダリンの園地渡しの価格は、収穫量の増加により下落すると予想されている。現在、広西チワン族自治区の早生品種である「沃柑」の価格は、約6.6~7.2元(0.94~1.08ドル)/kgである。広東省産の「沃柑」品種の価格はこれより安く、3~4.4元(0.43~0.63ドル)/

kgである。「沙糖桔」については、園地渡しの価格は約4.2～9元(0.6～1.3ドル)/kgである。同品種の低品質の果実は、卸売市場で約5元(0.71ドル)/kgの安い価格で入手できる。小売店では、最上級品の「沙糖桔」の価格は15～20元(2.14ドル～2.86ドル)/kgで推移している。

消費

2023/24年度のマンダリン及びタンジェリンの国内消費量は、収穫量の増加の直接的な結果として2,560万トンに増加すると予想される。最上級の国産品及び輸入品のマンダリン及びタンジェリンの需要は前年と同程度と予想されるが、標準的な果実は価格に敏感な消費者の関心を引くための競争が激しく、価格が下がる可能性がある。2022/23年度のマンダリン及びタンジェリンの消費量は2,520万トンの横ばいと見られる。



(左) 重慶産の晩生タンジェリン、(右) 12月上旬に湖南省の小売店で売られる各種のマンダリン
出典：当事務所

輸入

2023/24年度のマンダリンとタンジェリンの輸入量は、2022/23年度の改訂データから4%増の7万トンと予測される。中国は2022/23年度に、世界から前年比21.4%増の6万7,185トンのマンダリン、タンジェリン及びクレメンタインを輸入した。上位の輸入先国は、南アフリカ(38.6%増の3万5,664トン)、オーストラリア(9.6%減)、ペルー(31%増)等である。ウルグアイも594トンを中国に輸出した。その他の輸出国は、モロッコ(143.9%増)、スペイン(85%増)、チリ、米国(15%減の67トン)、エジプト、ベトナム等である。

輸出

2023/24年度のマンダリン及びタンジェリンの輸出量は、2022/23年度の中国の通関統計データから3%増となる78万トンと予測される。2022/23年度のマンダリン、タンジェリン、クレメンタインの輸出量は32.8%増の75万1,678トンであった。上位の輸出先は、ベトナム(43.8%増)、インドネシア、フィリピン、マレーシア、キルギスタン、タイ、ロシア、ミャンマー、バングラデシュ、香港であった。

表3 中国のマンダリン/タンジェリンの生産需給統計

マンダリン/タンジェリン(生鮮)	2021/2022		2022/2023		2023/2024	
	2021年10月		2022年10月		2023年10月	
販売年度の始まり	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
中国						
栽培面積(ヘクタール)	895,000	0	890,000	890,000	0	890,050
収穫面積(ヘクタール)	0	0	0	0	0	0
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
合計果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	27,000	0	26,500	26,500	0	26,900
輸入量(千トン)	55	0	50	67	0	70
総供給量(千トン)	27,055	0	26,550	26,567	0	26,970
輸出量(千トン)	566	0	745	752	0	780
生鮮国内消費量(千トン)	25,889	0	25,225	25,235	0	25,600
加工仕向量(千トン)	600	0	580	580	0	590
総仕向量(千トン)	27,055	0	26,550	26,567	0	26,970